

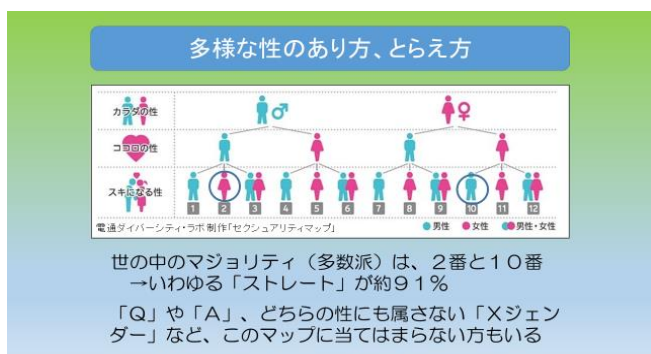
本日から人権同和教育旬間がはじまります。

さて、2・3年生の皆さんは、このイラストを覚えていますか。(スライド①) 今も保健室に掲示してありますので、1年生でも「見たことある!」という人もいられるかもしれません。

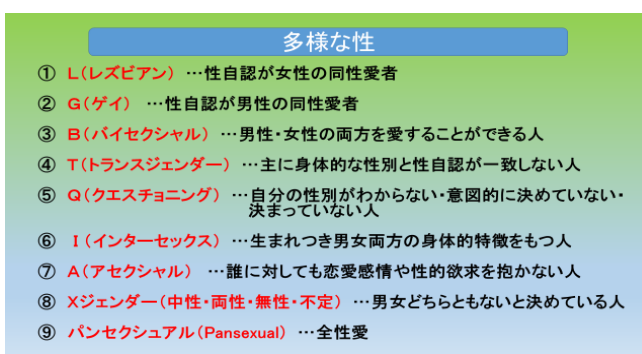
昨年は、この人権同和教育旬間にあたり、多様な性「LGBT」についてお話しました。(スライド②) 性別には、からだだけでなく、その人の思いや好きになる相手の性により、女性、男性のほか、このように様々な性があることを知りました。(スライド③)



【スライド①】



【スライド②】



【スライド③】

この話を受け、生徒の皆さんからは(スライド④)

OLGBT についてよく知らなかったけど、いろいろな性があることがわかり、一人一人の気持ちが大切だなと思った。一人一人違うことでよいし、差別をなくしていくといい社会になるし、認め合えたらいいと思った。

OLGBT の人の苦勞など知ることができた。人にはたくさんの考えがあるということを改めて理解できた。そして、この「理解」が重要だということを思い知った。LGBT を理解することで、身近に感じ、いじめや差別について考えさせられるきっかけになると思う。もし、身近にLGBT の人がいても、温かく迎え入れる環境を作っていきたいと思う。また、LGBT だけでなく、すべての人権においてそういう態度をしていきたい。

【スライド④】

というように、多様な性について、正しく理解し、違いを受け止め、尊重していこう、そして、その他の差別・偏見についても同様に向き合っていこうとする思いがたくさん寄せられ、とても嬉しく、頼もしく思いました。

本年度も、学年により学習する内容は異なりますが、差別や偏見について正しく学び、相手の立場に立って考え、違いを認め合い、だれもが安心して自分らしく生きていけるよう、しっかり自分と向き合い、学び深めてほしいと思います。

さて、この「相手の立場に立つ」とはどういうことでしょうか。少し考えてみましょう。今年、一人一台端末が導入され、本校ではフル活用されていることを嬉しく思います。しかし、時折、授業の様子を見させていただくと、どう考えてもその授業と関係のないサイトを開いている光景を目の当たりにすることがあります。このことは多くの先生や生徒の中からも声が挙がっています。この行為を「相手の

立場に立つ」という視点から考えてみるとどうでしょうか。授業は先生と生徒が一緒になって創り上げるものです。一生懸命授業を進めようとする先生の気持ちはどうでしょうか。そして、集中して学ぼうとする仲間の気持ちはどうでしょうか。「分からなければいい」、「周りに迷惑をかけていない」等では済まされない、マナー、モラルを逸脱し、自分以外の相手に対する思いやり・尊重を欠いた行為ではないでしょうか。「違いを認める」ということの中には、「認められる違い」と「認められない違い」があります。私たち一人一人の言動は、どんなに小さくても必ず周囲に何らかの影響を与えています。逆を言えば、それだけ一人一人の存在は大きく、尊いものです。そんな自分を大事にしつつ、常に相手も大事にする姿勢を高めていきたいものです。

先日、「chromebook の使用について」、クラスでの話し合いや代議員と先生方による座談会を経て、生徒会より示されました。ここには「自主性を養う」という学校教育目標のもと、三中生と先生方の思いが込められています。禁止事項は記載されていません。「学校生活や学力の向上」という活用目的を踏まえつつ、常に相手意識をもって適切な活用ができるようにしてほしいと願っています。すでに、不適切な活用をしている仲間に対して、注意し合うという姿もたくさんあると聞いています。「いけないことは、いけない」と言ってあげることも相手を思いやることですし、何より「注意を受けたら、素直に受け止め改善していく」ことも相手を尊重することです。このように相手の立場に立って考え、判断、行動し、適切に chromebook 等の ICT を活用する力をつけていってください。

【スライド⑤】

最後にこの映像を見てください。(スライド⑤)

これは、渡り鳥の【ガン】です。寒い季節になると、何千km（約4000km）も遠く離れた北の国から、何日もかけて日本に飛んできます。ガンは、このように『V』の字になって、仲間と協力しながら飛びます。これを、ガンの『V字飛行』と言いますが、そこにはこんな秘密が隠されている



るそうです。ガンが羽ばたくと、その後ろに体が浮きやすい風の流れます。その風に乗るように、両側に一羽ずつガンがつかます。体力の弱いガンは仲間のつくった風の助けを受けて少ない力で飛ぶことができます。同じように、仲間の後ろに次々とガンが付きV字になるそうです。一番苦しいのは先頭のガンですが、疲れてくると後ろのガンが先頭を交代します。しかも、後ろのガンは前を飛ぶ仲間を勇気づけるために「コア、コア」と鳴きながら飛ぶそうです。また、一羽の仲間が疲れて遅れ出すと、近くに寄り添って飛びます。途中で、病気になったり、傷ついたりして飛べなくなると、仲間が飛んでいき、そのガンを助け守るために地上に降ります。そして、また飛べるようになると、元の群れに追いついたり、他の群れに入ったりして飛び続けます。ガンの群れは、この助け合いを繰り返しながら遠くまで飛ぶことができるのです。体力やコンディション、リーダー性など相手をよく理解し、違いを認め、尊重し合いながら飛行する様子を感じ取ることができます。

この人権同和教育旬間を通して、改めて身の回りや社会の差別・偏見に対して正しい知識を身に付けるとともに、ガンのV字飛行のように相手の立場に立って考えたり、違いを認め、尊重し合ったりする姿勢をより高めつつ、だれもが安心して自分らしく生きることができる三中、そして社会づくりを進めていきましょう。